

4 成果と今後の課題

(1) 成果

学習規律

学習準備や片づけなど、できた時間や人数などを数値化したものを示すことによって意欲を高めることができた。また、準備物を黒板に明記するなど視覚に訴えることで効果があがり、2年生ではそうしたものを提示しなくてもかなり学習準備ができるようになった。

「話す」「聞く」「書く」

朝のスピーチなどでパターン化したものを繰り返し練習することで、話すことは少しずつ身に付いてきた。また、多人数では発言が難しい子も4人組での話し合いには参加しやすく、そうした機会を増やしていった。2人では、全く話し合いができないということもあり、4人が一番効果的と思われる。

書くことについては、ワークシートやふきだしを活用し繰り返させしていくうちに抵抗なく書ける子が増えてきた。

低学年では、「書く」「話す」については、パターンを教え、それを繰り返し練習することでスキルを身につけさせ、だんだんとレベルの高いものにしていくという学習が効果的だと感じた。

漢字・計算

毎日漢字テストを行ったり、帰りの会で筆順の確認を必ずするなど、繰り返し練習することで漢字の習得はかなりできている。また、まちがいなく漢字練習していたり、丁寧に書けていたりするときにご褒美シールを渡すことでやる気が出、そのことも漢字の習熟に役立っていると思う。

また、100玉そろばんの活用、たしひきカード、九九カードでの繰り返し練習に加え、九九カルタや九九リレーなどのゲームも取り入れたことにより意欲も高まりさらに計算力も向上してきている。

児童相互の関わり

4人程度の班で話し合うという活動を繰り返していくうちに、わがままを押さえ、助け合ったり、励まし合ったりできる子が増えてきた。そうした人間関係が築けると意見を言ったり、人の考えを聞いたりそれを取り入れたりするなど、相互に高め合うことができ思考力も育ちつつあると思う。

(2) 今後の課題

「話す」「書く」などのパターンを身につけることはある程度できてきているように思うが、今後はそれをさらに確実なものにし、応用もできるようにしていきたい。

「聞く」については聞くときの約束を提示することなどにより、良い聞き方が意識づけられている。今後も引き続き働きかけていくと同時に、友だちの発表について質問したり、良いところを伝えあったりするなど、聞かなければいけない場面を多く設定し、さらに聞く力を高めていきたい。

また、児童相互の意見の交換がさらに活発に行われ思考が高まるような手立てを今後考えていきたい。

最後に、個人差があり十分に目標を達成できない児童もいたが、その子なりの成長を認めていくことも大切だと感じた。